

日本洞窟学会創立 50 周年記念式典

日時：令和 7 年 10 月 12 日（日） 10 時～12 時 30 分

9:00-10:00 受付

10:00-11:00 日本洞窟学会創立 50 周年記念式典

11:00-12:30 記念講演会（公開講演会）

場所：美祢市立秋吉台科学博物館

参加費：無料

記念講演会（公開講演会）

特別天然記念物秋芳洞の再生に向けて一照明植生の現状とその対策

一般公開のために鍾乳洞に照明が用いられると、照明の当たる鍾乳洞の石灰岩壁や鍾乳石の表面に植物が着生し、洞窟の美観や環境に大きな影響を与えます。このような照明植生による外観変化は、国内外の観光洞で普遍的に起きています。特に照明を LED に転換してから顕著になりました。特別天然記念物である秋芳洞においても例外ではありません。

秋芳洞を照明植生が顕著になる前の状態まで戻すために、多くの領域の専門家が延べ 6 年間にわたって調査、対策試行および評価を行ってきました。ここで得られた成果は、同様に照明植生に悩まされている国内外の観光洞にとっても、対策法を策定するうえで重要な指針となり得ます。この講演会では、秋芳洞において調査、対策試行に携わった方々を代表して 5 名による解説を行い、特別天然記念物秋芳洞における照明植生対策と観光洞の持続的な管理に関して、皆さんとともに考えてみたいと思います。

11:00-11:15 照明植生対策のための戦略：吉村和久（九州大学名誉教授）

11:15-11:30 洞窟環境の概要と照明植生対策：石原与四郎（福岡大学理学部）

11:30-11:45 秋芳洞内の光合成生物の分布と緑化除去試行：堀 学（山口大学理学部）

11:45-12:00 対策試行の効果の追跡－写真画像による植生分布の解析：後藤 聡（東京スペレオクラブ）

12:00-12:15 秋芳洞内の照明植生除去試行と対策方針：篠田健二（美祢市教育委員会）

12:15-12:30 総合討論